

福井県高P連 会報

発行人 福井県高等学校PTA連合会
(福井県生活学習館「ユニー・アイふくい」内) 齋藤 力



令和元年度春季高校総体ソフトボール競技にて女子優勝・6連覇達成の三国高校チーム
(写真提供: 日刊県民福井)



会長挨拶 ひとつひとつの事を コツコツと

齋藤 力

会員の皆様におかれましては、日ごろより各単PのPTA活動を
通して子どもたちをあたたく見守っていただき誠にありがとうございます。
ございます。

令和元年六月四日に開催された県高等学校PTA連合会の年次総会にて、連合会会長にご承認を頂きました足羽高等学校PTA顧問の齋藤力です。この一年精一杯務めさせていただきますので、皆様のご支援とお力添えをよろしくお願いいたします。

さて、我々を取り巻く社会環境は大きく変化し、少子高齢化、国際化、高度情報化等がますます加速していくことが予想されます。少子高齢化が取りざたされてから随分久しくなつたように思うのですが、私が初めて耳にした頃はそれほど大きな問題には思いませんでした。しかし、昨今の少子高齢化の状況は、看過することができないものとして身近なところで「実感」する事が多くなりました。

子どもたちを取り巻く環境も急速に変化しています。SNSやAI等の劇的な進展に伴い、これからはますます便利になるとともに、ますます複雑な社会になっていく気がします。私たちが子どものころには想像だにしなかつた環境が今の子どもたちを取り巻いているのです。我々のころと今の環境を比べても仕方がないのですが、「昔はこうだったよね」とか、「今の子どもは〇〇だね」とか思うことが多くなってきました。それほど劇的に環境が変わっているのです。

しかし、子どもたちが幸せに成長し、将来への夢を持ち続けていくてほしいという親の願いは変わらないと私は信じています。社会に出ていく子どもたちが将来の色々な夢に向かって自分を成長させていくるように、ステージに立つ我が子を見守って支えていくことが我々保護者の務めではないでしょうか。「夢がある者には必ず行動があり、行動があれば結果があり、そして次のステップへの反省や挑戦がある」と私は考えています。そして、それを繰り返す事で人として成長していくのだと思います。そんな子どもたちのステージを会員の皆様と先生方が共に用意していったらと願っています。大きな事は出来ませんが、ひとつひとつの事をコツコツと積み上げ、子どもたちと共に成長し、少しでも貢献できたら幸いです。

最後になりましたが、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される年の七月十日(金)・十一日(土)に、北信越地区研究大会福井大会が福井市で開催されます。北信越地区のPTAの方々が大勢集まり実践発表が行われます。今年の秋には実行委員会を立ち上げて準備に入ります。福井の魅力や北信越地区の会員の皆様に存分に味わって頂けるような大会にしたいと思っておりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

第五十七回県高P連年次総会

新会長に齋藤力氏 (足羽高校顧問)を選出!



宮谷会長挨拶

令和元年度の年次総会が六月四日(火)、AOSSA県民ホールで、各単位PTAから会員百六十七名が参加して開催された。宮地真一副会長の「開会のことば」の後、挨拶に立った宮谷正志会長は、「二昨年の六月に会長にやらせていただいて、今日で二年が過ぎます。この二年間、『子どものために』ということを柱にして、勉強させていいただきました。そして、『つながる』ということの大切さを学びました。先生と生徒、親と子、先生と保護者。縦にも横にもつながっていくことで、人は立派に成長するのだと思います。今、教師の働き方改革が話題になっております。先生とつながりを持つ私たちは、子どもたちのためにもこの問題に無関



東村教育長祝辞

心ではいられません。学校がますます良くなっていくために、PTA活動に一層のご協力とご理解をいただきたいと思えます。」と話された。

次に、来賓として出席された東村健治県教育委員会教育長は、高P連年次総会が盛大に開催されることについてのお祝いの言葉に続けて、「昨年、国体で福井県が天皇杯を獲得することができました。二位の東京都に六百五十点の大差をつけての優勝です。高校生の頑張りが大きかったことがこの結果につながったのです。更に、高校生のボランティア、応援、競技補助員としての支えがあつたので大会でありました。サポートしていただいた保護者の皆様にも感謝申し上げます。」

次に、高校生の学力向上、職業系高校における資格取得を支援しています。また、現在の二年生は、センター試験に変わる新しい共通テストを受験することになります。その対応には万全を期したいと考えております。更に今年度は、『学校独自の取り組み』に軸足を移した支援を強化していきます。

平成三十一年三月卒業生の就職状況は、九十九・九%で全国一位でありました。最後まで支援を継続してまいりました。地元企業において活躍できる人材の育成を目指して、各学校に配置している『産業人材コーディネータ』と共にきめ細かな就職活動を進めていきます。

危惧していることがあります。一つ目は、学校だけで解決できない問題についてです。薬物乱用・インターネット・スマートホンの問題は、不登校やいじめにもつながる問題であります。フィルタリングをかけ、自画撮り被害やトラブルに巻き込まれないように家庭と学校が協力して取り組んでいく必要があります。二つ目の不登校・いじめ問題についても、しっかりと取り組んでまいります。高校生の適応指導教室的なものがないかについても検討しております。

教員の働き方改革については、教員のためだけではなく、子どもたちのためになるものであります。PTAの皆様のご理解ご協力をお願いいたします。PTAの皆様と校長・学校とが協力して学校改革を推進していただきました。」と挨拶された。

続いて、来賓の田中幸治県高等学校長協会会長(藤島高校校長)は、年次総会が盛大に開催されることへのお祝いの言葉に続けて、「新入生が入つてきて、学校が活気にあふれています。先週は春季高校総体が開催され、三年生を中心に熱戦が繰り広げられました。そして、三カ月後には早くも就職試験が始まります。各学校とも全ての生徒の進路実現に向けて全力で取り組んでまいります。

教育再生実行会議の第十一次提言が五月十七日に出されました。大きな柱が二つありまして、『技術の進展に応じた教育の革新』と『新時代に対応した高等学校改革』です。特に、高等学校改革においては、普通科、専門学科および総合学科の三つに区分されている現在の学科の在り方を見直すとのこと、生徒の七割以上が学ぶ普通科の改革が盛り込まれています。この提言を受けて、今後中央教育審議会で検討されていくものと思われまます。

公職選挙法が改正され、選挙権が十八歳以上になりました。民法も改正され、令和四年四月一日から成人年齢が十八歳に引き下げられます。現在の高校一年生は、卒業する年の次の年度に成人年齢を迎えることとなります。



田中校長協会会長祝辞



総会風景（開会式）

また、新学習指導要領が改訂され、現
 中学一年生が高校に入学する年から年
 次進行で新学習指導要領がスタートし
 ます。私たちは、大きな変革期に直面
 しております。『どのように学ぶか』『何
 ができるようになるか』が問われてい
 るのです。これらの課題解決に向けて、
 各高校が特色を出しながら教育活動を
 進めることとなります。

高校生という時代は、自分で課題を
 見つけ解決していく時代であります。
 悩みがあつて当たり前です。連続テレ
 ビ小説『なつぞら』の中で、主人公の
 高校生なつが悩み苦しんでいる時に、
 育ての母が『一人で苦しむだけなら家
 族はいらないし。』と言う場面がありま
 した。学校が支援することは当然であ
 りますが、家族と一緒に悩んでいただ
 くことも子どもたちが成長する大切な
 瞬間であると思います。

家庭と学校との連携がより一層重要

になってきます。ご理解ご支援をお願
 いしますとともに、高P連のご発展と
 皆様のご活躍をお祈り申し上げます。」
 と挨拶された。

来賓祝辞の後、表彰状贈呈に移り、
 P T A 活動に特に功績のあつた五名が
 県教育委員会から表彰され、各校 P T
 A 活動に貢献された四十八名の方々が
 当連合会会長から表彰された。続いて
 広報紙コンクールの表彰が行われ、最
 優秀賞の科学技術高校と藤島高校の P
 T A 以下八校の P T A が表彰された。

休憩の後、議事に移り、平成三十年
 度事業報告、会計決算報告が承認され
 たあと、役員の改選が行われ、新会長
 に齋藤力足羽高校 P T A 顧問が選出さ
 れた。退任役員を代表して宮谷正志会
 長、新任役員を代表して齋藤力会長が
 挨拶された。その後、議事が再開され、
 令和元年度事業計画案・予算案が審議
 され承認された。宮本豊彰新副会長の
 「閉会のことば」で年次総会は終了した。



新年度役員挨拶

一、被表彰者氏名（敬称略）

* 県教育委員会表彰

- 宮谷 正志（福井農林） 宮地 真一（武生商業）
- 宮本 豊彰（奥越明成） 山本 悟（敦賀気比）
- 鰐淵 剛（坂井）

* 県高等学校 P T A 連合会会長表彰

各校より推薦された P T A 役員四十八名

二、令和元年度役員氏名

- 会長 齋藤 力（足羽）
- 副会長



宮本 豊彰（奥越明成）



滝本 俊昭（武生東）



大島 洋一（若狭）

- 理事 邑田 亮（三国） 小林 一朗（高志）
- 山田 典明（丹南） 池田 朋樹（敦賀）
- 監事 高原 正幸（福井農林） 鈴木 美香（坂井）

三、令和元年度七月以降の主な大会・研修会

- * 北信越地区高 P 連大会長野大会 七月四・五日 ホクト文化ホール
- * 全国高 P 連大会京都大会 八月二十二・二十三日 京都市勧業会議場みやこめっせ
- * キャリアガイダンス研修会 九月十四日 県生活学習館映像ホール
- * 研究大会 十一月九日 福井パレスホテル
- * 各校 P T A 会長及び担当者会議 一月二十五日 県生活学習館研修室

※他に、令和二年度北信越地区研究大会福井大会の実行委員会にかかる諸会議が入る予定。

新時代を迎えて

副会長 宮本 豊彰

気が付けば一学期も末ですが、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、県高P連の活動に對しまして多大なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

過日の県高P連總會において副会長に再任されました。微力ではありますが齋藤会長を支えていきたいと思っております。

さて新しい「令和」の時代はICTの進歩、AI化の進展により子供を取り巻く環境は想像を超えた多様化が予想されます。また、選挙権や成人年齢の引き下げなどに対する高校生の保護者としての準備、心構えが必須となります。

県高P連では、総務、健全育成、進路対策、調査広報の各委員会のもとスキルアップや情報交換などの活動を行っております。その中で、今年度健全育成委員会を担当することになりました。

情報が多様化してあふれる中、薬物やいじめ、スマホ、SNSなどで子供が犯罪などに巻き込まれないように保護者としての心構えを扱う講演等が当委員会の活動です。また、関連して県が推進している「ふくいスマートルール」(検索して下さい)を意識して頂ければ幸いです。

最後に、皆様のご活躍を祈念致しますと共に、連合会の今年度の活動と来年開催の北信越福井大会の準備へのご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

有意義なPTA活動を 目指して

副会長 滝本 俊昭

この度、「令和」という新しい時代のスタートの年に、福井県高等学校PTA連合会の副会長を務めさせていただく事になりました武生東高校PTA会長の滝本俊昭と申します。いろいろと勉強させていただき、会員の皆様のために全力で任を果たしていきたいと思っております。どうぞ一年間よろしくお願ひ申し上げます。

さて、高P連は県内の33単Pから構成されており、県内の様々な地域でそれぞれに独自の活動をされているPTAの連合会という事で、各高校の様々な情報やアイデアが集まる場所ではないかと思っております。今年度、高P連の調査広報委員会の委員長も兼務させていただきます。

高P連は県内の33単Pから構成されており、県内の様々な地域でそれぞれに独自の活動をされているPTAの連合会という事で、各高校や大学入試の新テスト対応を含めた各有し、それぞれの単Pの活動や課題解決のヒントになるよう情報発信を『県高P連会報』を通して会員皆様のお手元へ届けてまいりたいと考えております。

私個人としては、長かったPTA活動も今年度で最後を迎えます。今までの経験を活かして、微力ではございますが、齋藤会長のもと皆様にとつて有意義なPTA活動になるよう精一杯務めてまいりますので、ご協力とご支援をよろしくお願ひいたします。

そこに愛はあるんか

副会長 大島 洋一

今年度、福井県高P連の副会長を務めさせていただく事になりました若狭高校PTA会長の大島洋一です。

今、子どもたちを取り巻く環境は、私たちが過ごしてきた時代とは大きく変化しています。コミュニケーションの方法や変化のスピードも激変し、便利になった反面、人の気持ちや置き去りになり様々な弊害も発生していま

す。今後も私たちが想像できない方法で変化し続けるでしょう。しかし、『人としてやらなければならぬこと』や『人としてやってはいけないこと』などの価値観は不変であると考えます。人としての真価を親から子へ、人生の先輩から後輩へと受け継いでいかなければならないと思っております。

教育や育児のスペシャリストではない親が試行錯誤を繰り返しながらPTAの一員として活動することはとても意義あることだと思っております。そこから得られる経験や知識が子どもとの関わりを深く良質なものに変えることを願うとともに、人として親として成長していきたいと思っております。そして、これらの活動を通して感じたことや経験したことをできるだけ多くの方々と共有していくことが使命だと考えます。

今年一年『そこに愛はあるんか』と自らを問いただし、私たちの活動が子どもたちの笑顔へとつながることを信じ、齋藤会長を中心に楽しみながら活動してまいりますのでよろしくお願ひします。

インフォメーション

北信越地区高P連總會

六月九日(日)に「北信越地区高P連總會」が新潟市のホテル日航にて開催された。福井県からは齋藤力高P連会長・宮谷正志前会長と事務局員が出席し、平成三十年年度活動報告、令和元年度北信越地区高P連役員案、北信越地区研究大会長野大会等について協議した。北信越地区高P連会長には長野県高P連会長の松下妙子氏が就任することになった。



各校PTA会長会議

六月十五日(土)に「各校PTA会長会議」が県生活学習館にて開催された。自己紹介の後、協議事項の審議に入った。研究大会やキャリアガイダンス研修会等の今年度の活動について確認し、その後、総務・健全育成・進路対策・調査広報の四つの委員会に分かれて今年度の活動計画や役割分担、講師案について協議した。また、委員会ごとに次回開催日の調整をし、講師案等をもう一度考えてくるという次回までの宿題を確認し合った。

全国高P連總會

六月二十二日(土)に「全国高等学校PTA連合会定時總會」が東京都の東京ガーデンパレスにて開催され、齋藤

《県高P連四つの委員会のメンバー一覧》

(1) 総務委員会「七名」

委員長 山田 典明(丹南)

副委員長 鈴木 美香(坂井)

委員 銅子 哲生(大野) 宇坪啓一郎(藤島) 廣部 賀紀(道守)

西出 博俊(武生) 山本 悟(敦賀気比)

(2) 健全育成委員会「九名」

委員長 宮本 豊彰(奥越明成)

副委員長 小林 一朗(高志)

委員 山本 久徳(奥越明成) 澤崎 栄輝(丸岡) 朝倉 邦真(高志)

清川 卓二(羽水) 澤崎誠衛司(池田分校)

石山大功実(武生工業) 安達 益宏(敦賀工業)

(3) 進路対策委員会「七名」

委員長 大島 洋一(若狭)

副委員長 池田 朋樹(敦賀)

委員 岩岡 貴央(勝山) 清水 道浩(足羽) 黒田 尚吾(福井商業)

宇野 泰博(鯖江) 中村 幸司(武生商業)

(4) 調査広報委員会「八名」

委員長 滝本 俊昭(武生東)

副委員長 邑田 亮(三国) 高原 正幸(福井農林)

委員 江川 欣男(金津) 野路 充(科学技術) 高松 恒雄(丹生)

上杉 美樹(美方) 三国 克彰(若狭東)

令和元年度の 研究発表校について

(1) 北信越地区高等学校 PTA連合会研究大会長野大会

開催日 七月四日(木)・五日(金)

会場 ホクト文化ホール

ホテルメトロポリタン長野
メルパルク長野

発表校

◎第一分科会

「高校教育とPTA」

大野高等学校

◎第二分科会

「進路指導とPTA」

羽水高等学校

◎第三分科会

「生徒指導とPTA」

敦賀工業高等学校

◎第四分科会

「家庭教育とPTA」

武生工業高等学校

(2) 県高P連研究大会

開催日 十一月九日(土)

会場 福井パレスホテル
勝山高等学校
丹南高等学校



力高P連会長と事務局長が出席した。来賓として柴山昌彦文部科学大臣が挨拶をされた。総会に文科大臣が出席されるのは初めてとのことであった。平成三十年度の事業報告・決算報告・新年度の役員選出等が協議され、四つの議案全てが承認された。令和元年度全国高P連役員として、北信越からは松下妙子北信越地区高P連会長(長野県高P連会長)が選出された。齋藤力福井県高P連会長は健全育成委員会に所属することになった。



北信越地区研究大会長野大会に 福井県から一五四名参加

「北信越地区研究大会長野大会」が七月四日(木)・五日(金)の二日間におたつて長野市のホクト文化ホールで開催され、当県からは一五四名が参加した。

一日目には、大野高校PTA(第一分科会)、羽水高校育成会(第二分科会)、敦賀工業高校PTA(第三分科会)、武生工業高校PTA(第四分科会)の四つのPTAが実践発表をした。

二日目には、結城匡啓信州大学教授による「金メダリスト小平奈緒の成長を支えてく選手の力を最大限に引き出すコーチング」と題する記念講演会があった。閉会式の最後に、次期開催県である福井県から齋藤力高P連会長による力強い歓迎挨拶がなされた。(長野大会の詳細については、次号六十八号で詳しくお伝えします。)

ちよつと ぼくが やましまくす!

Introduction

勝山高等学校

勝山市は古くは農林業、明治以降は繊維産業を中心とした商工業が盛んな土地で水と緑の豊かな田園都市です。同校はその勝山市のほぼ中央にあります。一九四八年に開校し、創立七十周年を迎える伝統校です。卒業生は各方面で活躍し、世界のトップレベルをひた走るパトミントンの山口茜選手も同校の卒業生です。生徒数は四百名強で、勝山市内の三つの中学校からの入学者が圧倒的に多く、「地域に密着した高校」です。部活動は山口茜さんに代表されるようにどの運動部も盛んです。文化部は五つあり、中でも日本文化部は部員が多く、「和太鼓甲子園」では過去に二度最優秀賞を受賞するなど、全国大会や催し物に出場して素晴らしい成績を残しています。



広報紙編集会議

いくつかの交差点で挨拶の言葉をかけながら交通安全指導を行います。また、全国大会出場に伴う激励の懸垂幕・横看板の準備等も総務委員の大きな仕事で、町をあげての雰囲気づくりに大きく貢献しています。

「広報委員会」のミッションは、「広報の編集発行を通じ、学校と家庭、会員相互の連携を図る」ことで、七月と十二月の二回「勝山高校PTAだより」を発行し、学校と家庭を結ぶ橋渡しと家庭における親子の会話の一助になつていこうとします。

三つ目の「進路対策委員会」では、①保護者対象進路説明会、②三年生模擬面接指導（進学・就職）、③社会見学実習会の三つの活動を行っています。この委員会の活動は、勝山高校PTAとして特徴的な活動ですので、詳しく紹介します。まず、模擬面接ですが、進学希望者にはPTAが、就職希望者にはロータリークラブの方が実施しているそうです。生徒たちに行つたアンケート結果では、全員が模擬面接のおかげで本番でも落ち着いて挑戦することができたといった感謝の言葉が多数寄せられているとのこと。更に、地域社会の現状と課題を学ぶことを目的とした社会見学実習会を三年生全員に実施しています。



社会見学実習会

非常に印象的だったので、この活動に対する生徒たちの感想を一部紹介します。「地元で世界規模の企業があることに驚いた」「自分達が勉強している化学が役立つ事に興奮した」等です。この取組みは生徒の心をつかんだようです。今回、勝山高等学校のPTA活動を拝見させて頂き、「学校・保護者・生徒・地域社会」が連携して継続的に活動していく事の大切さを改めて学ぶことができました。（取材 藤島高校 PTA前会長 青山 修）

Introduction

福井農林高等学校

平成から令和へ新時代の幕開けから間もない五月中旬、福井農林高校におじゃましました。同校は福井市の北東部にあり、明治二十六年開校の歴史と伝統のある農業の専門学科高校で、校地には実習用のビニールハウスや鶏舎、田園、果樹園、ピオトープが併設されており、自然環境に恵まれた学校です。校訓の「たいちに生きる」「大地を「だいち」とはあえて読まない」ともと、大地を踏みしめ、誠実に生きることを目指しているそうです。

学科は四つあります。「生物生産科」は農産物の生産や農業技術を、「環境工学科」は造園技術や測量などを通して自然との共生や環境を、「生活科学科」は農業、家庭、福祉など生活にかかわる様々なことを、「生産流通科」は農産物の加工や流通、簿記、販売などを学びます。いずれの学科も「食」と「農」、「環境」に関わる学習を通して、スペシャリストの育成に努めているとのこと。

一年次には勝山市で演習林宿泊体験実習があり、本物の樹を切る経験をし、二年次には修学旅行先の北海道で農業体験をするファームステイがあります。また、友好協定を結んでいるインドネシアのタンジュン農業高校への生徒の派遣、受入れも続けているそうです。更には、地元企業と共同での農産品開発や校内の農園を地域の方々に貸出し、野菜作りを体験してもらう「ふれあい農園」、毎週火曜日に同校や契約農家で収穫した農産物を生徒たちが陳列、レジ打ち、案内などを行う「ふれあいマーケット」など地域との交流も盛んに行われています。

この企画は、調査広報委員が直接「ちよつとおじゃま」し、伺つた話の中から委員独自の感性でこれとは思われるものを紹介していくものです。

Introduction

PTA前会長 村上嘉尚

学校行事としては、四月に男子40キロ、女子27キロを歩く「開校記念競歩大会」（PTAも給茶ボランティアとして参加）、六月にはクラス対抗合唱コンクールや「田植祭」（その中で農業、森林、土木、生活の専門知識を競い合う農業鑑定競技を行う）があります。部活動では相撲部やレスリング部など全国大会に出場する部活があり、また、和太鼓演奏の郷土芸能部は海外遠征を行っており、定期演奏会では立ち見ができるほど盛況であります。

PTAでは会報の発行や農文祭（学校祭）での手打ちそばの振舞い、保護者同士が様々な講座を通して交流する「ふれあいトーク」、交通安全街頭指導、進路説明会の開催、就職模擬面接などを行っているとのことでした。同校のPTAでは子どもと保護者の進路意識の育成を目指して学校と連携した数多くの行事を企画し、親と子の進路への気持ちを共有してもらい、子どもの夢実現につながっていくことを目指した活動が行われています。これからも、子どもたちの夢の実現に向けて、PTAとして新たな取り組みを模索していきたいとのことでした。



強歩大会給茶ボランティア



ふれあいトーク

最優秀賞に 科学技術高校PTAと藤島高校PTA！

第16回 広報紙コンクール

広報紙コンクール審査会が4月13日(土)に県生活学習館において開催された。特別審査員に福井新聞(株)編集局メディア整理部長の川塚康弘氏、河和田屋印刷(株)営業部の寺崎展孝氏をお迎えして、調査広報委員会の委員と併せた9名が応募のあった28団体の広報紙の審査に当たった。

特別審査員、広報委員の合議の話題の中から、各学校のPTAが今後の紙面づくりの参考になるとされるものを以下に挙げる。



《紙面づくりのヒント》

1. 第1面 (表紙にあたる部分)

最初に読者をひきつける部分であるから、目を引くインパクトのあるものが効果的である。表紙として、次の2つの系統の広報紙が印象に残った。

- A. 週刊誌的な表紙
- B. 全面写真 (ナチュラル系、パステル調の透明感のあるもの)

2. 記事内容

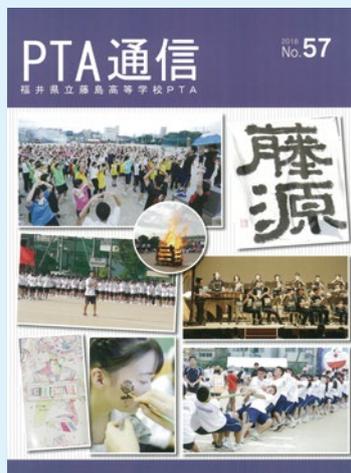
全ての広報紙が学校行事や生徒の活動結果、進路状況等を取り上げている。これは、広報紙の持つ〈記録性〉という重要な側面である。しかし、記録等の報告だけで終わってはもったいない。独自の特集企画やPTA行事をもっと取り上げ、保護者の生の声・感想が書き込まれると魅力的になる。

審査の結果、以下の団体が選ばれた。8月に開催される全国高P連京都大会では、県代表として科学技術高校PTAと藤島高校PTAの広報紙を掲示することも決まった。表彰は、6月4日(火)の年次総会の席上で行われた。

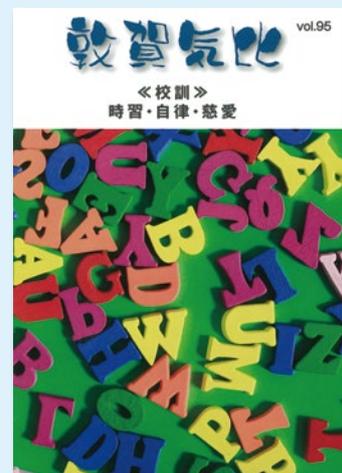
最優秀賞	科学技術高校PTA、藤島高校PTA
優秀賞	敦賀気比高校父母と教師の会
佳作	丸岡高校PTA、金津高校PTA 武生東高校PTA、大野高校PTA 武生高校PTA



科学技術高校



藤島高校



敦賀気比高校

高校生総合保障制度 発足後25年目を迎えて

平成七年度に発足しました高校生総合保障制度も、毎年多くの加入を頂いており、保護者各位ならびに学校関係者各位のご理解とご協力のもと、当制度は各校のPTAの事業として推進が図られています。

毎年、事故の増加している**自転車事故**に**重点をおいた補償プラン**になっており、自転車による賠償事故や搭乗中の生徒本人のケガについて大きな補償を設定しています。

ところでこの時期になりますと、当制度に未加入の保護者の方から「入学時に手続きを忘れたので…」子どもがクラブ活動を始めたので…」などの理由から中途加入をご希望されるケースがあります。まだ、加入手続きをされていない保護者におかれましては、このような場合にも備えて是非、当制度の加入をご検討いただければ幸いです。

○中途加入に関するお問合せ先
高校生総合保障制度事務局
株式会社アイル保険センター

〒91010003

福井県福井市松本4丁目6番15号

TEL・0776-12313419

(受付時間：9時～17時 土、日、祝日、年末年始除く)

○保険金の請求方法

保険金の請求についてはお手元にご加入者証をご用意のうえ、事故受付専用ダイヤル(0120-3300-399)までご連絡ください。

保護者の皆様へ 2019年度版

福井県高等学校PTA連合会

適用される割引率※

15% 割引

高校生総合保障制度

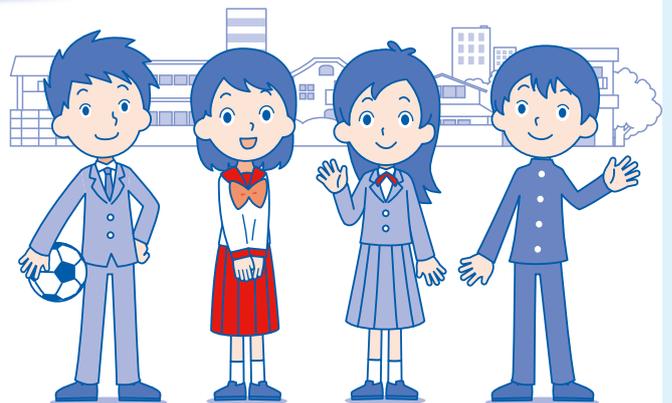
ご案内

[こども総合保険 + 自転車総合保険]

学校の
休みの日でも

大切なお子さまを補償期間(保険期間)中、**1日24時間補償します**

ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。



自転車事故等による損害賠償責任も
最高2億円まで補償

示談交渉サービス付き!

*示談交渉を行う場合は、被保険者および被害者の同意が必要です。国内のみのサービスとなります。

小学5年男子児童の自転車衝突で母親に
約9,520万円の賠償命令(神戸地裁判決)

扶養者の方が事故で万一の際に
育英費用を補償

高校3年間と大学等の合計で、
約935万円の教育費がかかります!

出典:株式会社日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査結果」(平成29年度)

簡単支払特急便

スピード対応 お電話一本で手続き完了

ケガによる入院・通院で10万円以下のご請求は、
電話による事故報告のみで保険金をお支払いします。

プランによって補償項目が異なる場合がありますので、詳しくはパンフレットのプラン表をご確認ください。

※割引率について:パンフレットで案内している保険商品の算出基準である保険料(加入者数20名未満の団体における保険料)に対しての割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。

引受保険会社: **AIG損害保険株式会社**

S-190407 2020-06